

# シェルターインクルーシブプレイス コパル (山形市南部児童遊戯施設) を見学しました

令和5年7月21日(金)、山形市片谷地の「シェルターインクルーシブプレイスコパル(山形市南部児童遊戯施設)」を見学させていただきました。

この施設は、令和4年4月18日に開館したもので、施設の名称にも入っている「インクルーシブ」とは、性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いを認め合い、ともに生きることを指す概念であるとのことでした。

当日は、当署から若手署員5名ほかがお邪魔し、色部正俊館長のご案内で、山形市産材のカラマツがふんだんに使用された施設を見学しました。段差のない入口は、木造ドームづくりの体育館に接続しており、木の持つあたたかさを感じることができました。館内の施設はゆったりとしたスロープでつながって、建物全体を回遊できるように工夫されていました。施設の屋根は、背後の蔵王連峰の山並みに呼応しているほか、屋外の丘やくぼみが建物の中まで自然とつながり、すべての場所が公園のようなのびやかな遊びと学びの場となるよう、設計されたとのことでした。

また、「インクルーシブ」な視点から必要となる手摺をはじめ、木琴を模したベンチ、休憩スペースの机や椅子、常備された玩具なども木材が用いられており、館内はあたたかみあふれる雰囲気にも包まれていました。署員は館長のおゆるしをいただいて、ひととき童心に返ってすべり台などを体験させていただきました。

「コパル」は、海外も含めて広い地域から多くの利用者や見学者が訪れているほか、木材を活用した施設として注目を集めており、ウッドデザイン賞や日本建築学会賞など多くの賞を受けています。木材が子育ての環境づくりや地域振興に有意義に活用されている事例を見学し、木材が「インクルーシブ」の考え方に合致する素材であることを認識するとともに、木材を安定的に供給する使命を持っている署業務への意識を新たにすることができました。

お忙しい中、懇切丁寧にご案内いただいた色部館長をはじめコパルの皆様方、見学をお願いをつないでいただいた山形市森林整備課様に深く感謝申し上げます。今後とも、このような機会を通じて、職員の資質の向上・研鑽に努めて参ります。

